

大阪航空局におけるCPD制度及び登録基幹技能者制度等の活用について

平成24年5月
＜問い合わせ先＞
経理課
(06-6949-6206)
技術管理課
(06-6949-0317)

大阪航空局においては、工事の更なる品質確保を促進するため、平成24年度において、総合評価落札方式により発注する工事について、「CPD制度」、「登録基幹技能者制度」及び「空港工事施工管理技術者資格制度」を活用した評価の実施に取り組めます。

また、ダンピング受注(低入札)対策への取組として、建築工事において施工体制確認型総合評価落札方式及び特別重点調査の試行範囲を拡大します。

1. CPD制度の活用

・建設業における優秀な技術者の確保・育成等を推進し、将来における建設工事の品質を確保するために、技術者が自主的に能力を研鑽する上で有効な手法である継続教育(いわゆる「CPD」)への取組を推進するため、総合評価落札方式において評価します。…[別紙1参照](#)

2. 登録基幹技能者制度の活用

・品質、コスト、安全面で質の高い施工を確保するため、建設現場で直接生産活動に携わり、その中核的役割を担う技術者について、工事現場において基幹的な役割を担うために必要な技能に関する講習を修了し登録された基幹技能者(登録基幹技能者)の活用への取組を推進し、総合評価落札方式において評価します。…[別紙2参照](#)

3. 空港工事施工管理技術者資格制度の活用

・制限区域、制限表面など一般には見られない空港特有の条件のもとで行われる土木工事は、航空機の安全運航に直結したものとなります。そのため、空港土木工事に特有の技術と高い知識をもった技術者として認定された、空港工事管理技術者の活用への取組を推進し、総合評価落札方式において評価します。…[別紙3参照](#)

4. 建築工事における施工体制確認型総合評価落札方式の拡大

・ダンピング受注(低入札)については、工事の品質の確保に支障を及ぼしかねないだけでなく、下請けへのしわ寄せ、労働条件の悪化、安全対策の不徹底等につながるものであることから、品質の確保及び施工体制の確保を目指し、更なるダンピング受注(低入札)対策として、施工体制確認型総合評価落札方式及び特別重点調査の対象として従来の予定価格6000万円以上から1000万円以上に試行拡大します。・・・[別紙4参照](#)